



## 乗り越える力「レジリエンス」と感謝の心

校長 成田 弥生

### \* 6年生陸上大会\*

10月11日に6年生は第67回渋谷区立小学校陸上記録会に参加をしました。当日に向けて朝練も頑張り、陸上競技のゲストティーチャーの方からいただいたオリジナルの鉢巻を巻いて、たくさんの保護者の方の大声援のもと、自己の記録更新目指してチャレンジをしました。



オリンピックの舞台となった壮大なスタジアムで、全力で走り、跳び、それぞれが「ベストを尽くした」競技大会となりました。当日は怪我のため応援参加の子もいましたが、仲間の活躍を心から応援する姿に「チーム猿楽」の一体感と子供たちの成長を実感しました。

子供たちが頑張る姿に胸が熱くなり、その成長に感謝する素晴らしい時間となりました。

### \* 4年生御殿場移動教室\*

10月23、24日で4年生は澄んだ青空のもと富士山の麓、御殿場移動教室に行ってきました。



1日目は、富士山5合目から、小富士へのハイキングを楽しみ、間近に見える富士山の雄大さと眼下に広がる素晴らしい景色に感動しました。

1泊2日ではありますが、4年生にとっては親元を離れ、初のお泊り体験にワクワクし、楽しみを全身で表現している子も沢山いました。

出発式では移動教室で大事にしたい **「3つのあ」⇒挨拶・安全・相手意識** について、特に「ありがとう」が響く移動教室にしたいと子供たちに伝えました。班長を中心に、自分の役割を意識して、協力しての班行動にも頑張ることができました。校外学習や行事は、人との関わりを学ぶ絶好のチャンスです。行事が続く秋こそ、「ありがとう」を響かせていきたいと思います。

### \* レジリエンス「ピンチを乗り越える力」\*

最近読んだ本で心に残った一節がありました。著名な脳科学者のお二人が我が子の子育てを振り返りながら対話形式の本です。その中で「レジリエンス『ピンチを乗り越える力』をどう鍛えるか。」という話題がありました。

レジリエンスとは 「山中教授、同級生の小児脳科学者と子育てを語るより抜粋」

- 自己肯定感…自分は何があっても大丈夫だと思える力
- 社会性…周囲の人と協力しながらいろいろな問題を解決する力
- ソーシャルサポート…周りの人に助けられていることを実感する力

山中教授の師匠はレジリエンスをどう鍛えるか。「僕は感謝だと思う。」と語られたそうです。人は一人では育たない、人と人の関係の中で成長する。特に「ありがとうが言い合える関係」が大切で、その人との関りに中で自己肯定感・社会性・ソーシャルサポートが高まっていくのではないかと思います。全てが学びのチャンスになります。大いなる飛躍の秋にしたいと思います。